

資源循環を目指した有機物の下層施肥法の開発

効率的に有機物を土壤に施用する技術を開発し、作土を肥沃にすることで様々な作物の収量、品質を改善することを目的とする。これにより有機物資源の循環利用と食糧自給率の向上を図る。

【研究の背景】

- ・有機物の循環利用を推進する必要
- ・有機物資源の肥料は表面施用しかできないため、肥料成分の一部は揮散、流亡する。浅い耕起では作土が薄くなる。
- ・下層に有機物を施用する技術開発を行うことで全層的に地力を改善を行うことが可能

【研究内容】

- 1 下層施肥作業機の開発 (工技総研分担課題)
- 2 作業に適する堆肥調整条件の検索
- 3 下層施肥による地力改善後の栽培

【期待できる効果】

- ・県内有機物資源の有効活用
- ・安定した作物収量のほ場の増加
- ・食糧増産による食糧自給率向上



開発中の下層施肥作業機